

# 講義要項作成様式（講義用）

平成 19 年度 前期

学部昼間主

（該当区分のみに加工してください。）

-----  
授業科目 外国書講読 4 単位 担当教員 三古展弘

## I. 授業のテーマと目標

本科目では、学術論文や報告書を英語で書く際に必要となる知識について教科書に沿って講義する。しかし、本講義で得られる知識の応用範囲は英語での論文執筆にとどまらない。例えば、日本語の論文や報告書を書く場合、また論文を読む場合にも有益である。論文執筆のフォーマット、論文審査のシステム、電子ジャーナルを使った論文検索など、論文執筆に関連する事項についても可能な限り紹介したい。

## II. 教科書・参考書

### 【教科書】

Hogue, A. and Oshima, A. (2005) Writing Academic English (Fourth Edition), Pearson Education.  
(ISBN: 0-13-152359-7)

## III. 授業内容の要旨と授業計画

毎週 1 章ずつを目安に講義を行うが、適宜 Appendixes, 論文執筆のフォーマット, 論文審査のシステム, 電子ジャーナルを使った論文検索などにも触れる予定である。

### PART I WRITING A PARAGRAPH

- Chapter 1. Paragraph Structure
- Chapter 2. Unity and Coherence
- Chapter 3. Supporting Details: Facts, Quotations, and Statistics

### PART II WRITING AN ESSAY

- Chapter 4. From Paragraph to Essay
- Chapter 5. Chronological Order: Process Essays
- Chapter 6. Cause/Effect Essays
- Chapter 7. Comparison/Contrast Essays
- Chapter 8. Paraphrase and Summary
- Chapter 9. Argumentative Essays

### PART III SENTENCE STRUCTURE

- Chapter 10. Types of Sentences
- Chapter 11. Using Parallel Structures and Fixing Sentence Problems
- Chapter 12. Noun Clauses
- Chapter 13. Adverb Clauses
- Chapter 14. Adjective Clauses
- Chapter 15. Participial Phrases

Appendix A: The Process of Academic Writing

Appendix B: Punctuation Rules

Appendix C: Charts of Connecting Words and Transition Signals

Appendix D: Editing Symbols

Appendix E: Research and Documentation of Sources

Appendix F: Self-Editing and Peer-Editing Worksheets

## IV. 成績評価の方法

出席, レポート (50%程度) および期末試験 (50%程度)。具体的な評価の方法については第 1 回目の講義で説明および相談するので必ず出席すること。出席重視型 (例えば欠席 3 回で不可) などいくつかの候補を検討中である。自習を促す課題を設け, レポート・発表してもらうことも検討している。課題の内容についても希望があれば, 提案を歓迎する。

## **V. 学生へのメッセージ**

大学院への進学や研究者への道を進もうとしている学生，留学を考えている学生には有益であろう。もちろん卒業論文の執筆にも有益である。なお，本講義は英語を母語としない，また英語を専門としない教員によって提供されることは予めご承知おき願いたい。